

報道関係者各位

## 大橋正芳染色展 開催！

- 捺染作品と藍板締め研究 -



### 〔概要〕

東京造形大学（学長：諏訪敦彦）では、テキスタイルデザイン専攻領域大橋正芳教授の退任記念として「大橋正芳染色展」を開催いたします。

本展は東京造形大学テキスタイルデザイン専攻領域 大橋正芳教授の退任記念展として開催するものであります。

「染色とは水が色を運ぶこと」……この考えは、大橋教授の長年にわたる染色作家としての制作および研究活動の根底を形づけてきました。

若い頃にこの考えを見つけて以来現在にまで、水をテーマに「線」や「にじみ」を巧みに取り入れた作品を制作し、「水のかたち」を表現することに挑み続けています。

また制作と並行して、かつて出雲地方に存在した藍板締めの研究も行なってきました。その型板に残された「職人が水＝にじみと戦った痕跡」に惹かれ、80年代半ばから20年間にわたり研究は続きました。

本展は教授の染色作家と研究者の両面をご紹介する構成になります。

展示の前半は教授の代表的な技法「捺染」を用いて生み出された染色作品を中心に、初期の作品や、影響を受けた恩師である染色作家 四本貴資氏の作品も合わせて展示します。

後半は“幻の染色”と言われる藍板締め研究から、江戸時代後期の裂や型板、さらに教授の研究によって復元された資料などをご紹介します。

本展が、染色表現の可能性と染色文化の魅力を知っていただく機会になれば幸いです。

展覧会名：大橋正芳染色展

会 場：東京造形大学附属美術館

会 期：2013年6月17日（月）～7月13日（土）

休館日：日曜日

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）

観覧料：無料

主 催：東京造形大学美術館委員会

### 【取材等お問い合わせ先】

学校法人桑沢学園 東京造形大学企画セクション

TEL：042-637-8755 FAX：042-637-8045

e-mail：gakuenkikaku@kuwasawa.ac.jp